

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	◎	タクシー運転手	来客数の動き	・7月初めまでは景気が良くなっていたが、今後は新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、不安である。
(中国)	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・コロナ禍で停滞していた消費が動き始めている。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、通常の消費に戻りつつある。商品が値上がり傾向にあり、一部に駆け込み需要がみられる。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	単価の動き	・単価の高い商品を提案することで、受注成約率が高まっている。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・今月に入り、来客数が少しずつ回復している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比べ、客単価が低下しているが、来客数や売上は増加している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・人の動きも活発になってきており、売上は回復傾向にある。
	○	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、客が良い物を求めているため、単価が上昇している。
	○	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルス感染症の影響で、販売が大幅に落ち込んでいたが、今月は新型車の効果もあり、多少回復している。
	○	その他専門店〔土産物〕（経営者）	お客様の様子	・多くの観光客が来店し、土産物などを購入しており、以前より活気がある。観光マップなどの冊子が早くなっている。
	○	その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・来客数は微増、売上単価は上昇している。ただし、当地も新型コロナウイルスの感染が拡大しており、来月の来客数がどうなるかは分からない。
	○	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきてから徐々に来客数が回復していたが、ここ最近の感染拡大で、回復が若干鈍ってきている。ただし、以前ほど極端に来客数が減少したわけではないので、月全体では微増となっている。
	○	都市型ホテル（企画担当）	お客様の様子	・人流が良くなってきている。また、客の消費意欲が高く、活発に行動し始めている。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・今月中旬から新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し始め、後半から少しずつ人流が悪くなってきている。しかし、行動規制などの飲食店の営業時間規制等がないので、以前のような停滞や落ち込みはない。観光予約も多少あるが、キャンセルになっていない。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・夜の売上が確実に増加している。
	○	通信会社（経理担当）	お客様の様子	・光回線を待っていた客も多く、エリア拡張で加入者が増加している。
	○	放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・利用料の延滞総額は低下傾向、回収率は上昇傾向にあるため、新型コロナウイルス感染症が家計に及ぼす影響も短期的には小さくなっている。
○	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているが、現状は客に以前ほどの外出自粛の意識はない。	
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近、夏のイベントを実施すると、人の流れがあるが、普段は暑さのためか人が余り歩いていない。	
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、このままだと来客数の減少が続く。	
□	一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・今期に入っても、業績は前年を下回っていて、不安である。雇用調整助成金を受給しているが、9月で終了と聞いている。しかし、その頃はまだ経済の回復は見込めない。	
□	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の状況は4月より改善しているが、客単価の状況は更に悪化している。	
□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・県内での新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、ほとんどの部門で売上が伸びず、前年を下回っている。	

□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数や売上が前年比プラスで推移していたが、月の中旬から新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、来客数や売上が激減している。
□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円の特品やぜいたくな宝飾品が売れている。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・コロナ禍から脱した感じはあるが、値上げ基調により、販売点数や売上は横ばいである。週末を中心に外出や行楽はあるものの、逆に外食に流れている傾向もある。また、客が割引日に集中し、平日等との格差が大きくなっている。販売点数は平日の落ち込みがあり、全体では減少傾向にある。
□	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は極端に減少していないが、客単価がやや低下している。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・商品の値上げが続き、販売点数の前年割れが続いている。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比95.4%で推移している。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出されていないため、週末などは客が飲食へ若干流れている。商品の値上げで1品単価が上昇しているが、客が無駄な買物はしない傾向にあるため、買上点数が伸びていない。
□	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・人口が減少しているため、必然的に売上が右肩下がりとなっている。高齢化もあり、客の消費が減少傾向にある。
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・8月に歌舞伎を観劇する旅行を計画しているが、参加者が夏物を購入したので、今月は景気が良くなっている。
□	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・客が新型コロナウイルス感染症の第7波を警戒しているのか、来客数の減少が続いている。
□	家電量販店（店長）	お客様の様子	・物価の上昇や先行きに対する不安の影響で、客の需要がAV機器等の嗜好品から生活必需品に流れている。
□	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車の発表告知があっても実車がないので、来客数に変化はない。
□	その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・7月初旬は景気が回復に向かっている感じがあったが、後半は来客数や売上が鈍化している。3か月前と比べ、来客数は若干増加しているが、来店しても多くの買物はせず、目的買いがほとんどである。イベントへの参加人数ももくろみより少ない状態である。
□	観光型ホテル（副支配人）	お客様の様子	・県民割が延長になり、宿泊の予約は3か月前と同様に順調である。
□	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・円安を背景とした物価上昇もあり、客が外食やレジャーにかかる費用を節約する傾向にある。新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で、来客数が落ち込むと予想したが、政府の行動制限がなく、足元の人出などは変化がない。また、宿泊やレストランの個人客利用も安定している。
□	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・7月に入り、夏休み需要を中心に売上は増加していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で失速している。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・物価上昇が直接消費動向に影響している様子はなく、当社サービスにおいても、解約数は前年同期を下回って推移している。
□	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ボーナス時期で引き合いは新型コロナウイルス感染症の発生前に近い感触となっている。
□	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のため、景気は良くなっていない。
□	テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・政府の景気対策が国民の求めるものではないため、景気は良くなっていない。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加しているため、予約が減少している。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波が到来したことで、引き合いの低調な状況が続いている。
□	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・以前と比べて最近の仕事量が少なくなっており、今後も急激に増加する様子はなく、量についてはやや少ない状況で今後も変わらない。

□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客の年収が伸びず、住宅等への投入金額が抑制され、需要が中価格帯の物件に集まっており、リノベーションも含めた動きとなっているため、動きが遅くなっている。
□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・3年ぶりに再開されるイベントなどを見ても、感染対策をしっかりとすれば、参加する客が増加している。
▲	商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、物価の上昇、梅雨明け後の長雨などの影響で、客の購買意欲が低下している。
▲	商店街（代表者）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数が減少し、客の購買意欲も低下している。
▲	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・暑さで来客数が減少したことや仕入価格が上昇したことで、景気は悪化している。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・月の前半はセールが開始したということもあり、来客数は前年を上回っていたが、中旬以降は新型コロナウイルス感染症の影響で、日々客が少なくなっている。また、衣料品などの売上が前年を下回っている。
▲	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、来客数や売上が急激に悪化している。回復傾向にあった土産品等の売上も急激に悪化している。
▲	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で、7月中旬より来客数が大幅な減少に転じ、売上也非常に厳しい日々が続いており、6月までと比べると1割近い減少となっている。
▲	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・7月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、1日の新規感染者数が最高を更新したことで、来客数が減少し、6月と比べて明らかに厳しい状況になっている。
▲	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価は横ばいだが、来客数や買上数量が減少している。
▲	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・食品は、相次ぐ商品の値上げで、買い控えや必要最小限の買物になっている。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数は前年比98%、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大、商品の値上がりによる節約傾向、天候不順もあり、厳しい状況が続く。
▲	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるにもかかわらず、内食需要の減少と価格の上昇により、買上点数が減少し、売上が前年を下回っている。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加してきているため、景気はやや悪くなっている。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響なのか来客数が減少している。また、テレビやエアコンなど大物商材の売行きが悪くなっている。
▲	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・猛暑になったり、雨が降ったりと天候が不順なことで、来客数がかなり減少し、売上も減少している。
▲	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が再拡大し始め、来客数が減少している。客の購買意欲等は変わっていないが、外出する機会が減っている。
▲	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・3か月前と比べ、週末の来客数が激減している。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・値上げ等により、販売額は増加しているが、来客数は増加しておらず、単価は上昇したが、件数は微減となっている。販売額が増加しても、値上げによる販売コスト増もあるので、利益が増加したとはいえない。
▲	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、景気はやや悪くなっている。
▲	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で、街に出る人がますます少なくなっており、地方の街は厳しい状況である。
▲	高級レストラン（事業戦略担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するにつれて、先の予約のキャンセルも増加し始めている。

	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最高となつてから、来客数は平日だけでなく、前年を上回っていた休前日や休日も減少している。特に今月の第3週に入って、休前日の来客数の落ち込みが激しくなっている。
	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・1組当たりの来店人数が減少している。また、ディナータイムの客単価も低下しつつある。
	▲	バー(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、景気はやや悪くなっている。
	▲	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・レストランの来客数は、ここ最近でも特に変化はなく、5～6月などは回復傾向にあった。ただし、客室利用については、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加の報道が過熱化するたびに、落ち込んでおり、回復の兆しが全くみえない。
	▲	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・景気は回復に向かっていたが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、客が旅行に行けなくなっている。また全国旅行支援も延期になっている。
	▲	ゴルフ場(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことによるキャンセル、特に団体のキャンセルが増加してきている。
	▲	競艇場(企画営業担当)	販売量の動き	・3か月前はG1競走が開催されたが、今月は同規模の売上が見込まれるレースが開催されなかったため、景気はやや悪くなっている。
	▲	住宅販売会社 (営業所長)	来客数の動き	・高額層の動きが悪い。コスト重視の客の動きはあるが、将来不安に陥るケースも多発している。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・市民レベルではそうでもないが、自治体からの意味のない人数規制等が経済活動をひっ迫させている。今は個々人の新型コロナウイルスへの感染予防にとどめる段階である。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、外出する人がかなり減少している。
	×	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・4月から多数の国産製品が値上がりし、消費者が国産製品より安いアジアの諸外国の輸入製品を求めることが多くなっている。販売価格も利益も低く、前年と比べ業績が悪化している。
	×	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・来客数の減少が止まらない。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が1000人を超えた頃から、来客数が一気に減少している。
	×	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響もあり、既存予約がキャンセルとなり、先行予約が激減している。
	×	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・4月以降、景気は徐々に回復してきたが、7月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株B.A.5が全国的に拡大したため、既存予約がキャンセルとなり、新規予約の動きも鈍化している。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で、景気は悪くなっている。
	×	通信会社(広報担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の再拡大や物価上昇の影響で、客が買い控え傾向にある。
	×	美容室(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いておらず、客が外出に敏感になっている。また、物価の上昇で、客が節約傾向にある。
企業動向 関連 (中国)	◎	*	*	*
	○	化学工業(総務担当)	取引先の様子	・物価の上昇もあり、先行き不透明感はあるが、現状では景気は良くなっている。
	○	電気機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・5G市場や半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大しているため、機械装置の受注は堅調に推移している。また、電子部品等の調達難により納期長期化を見越した客からの先行発注もあり、売上は増加傾向にある。
	○	輸送業	受注価格や販売価格の動き	・注文が増加している。
	□	食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しつつあり、厳しい状況である。

	□	繊維工業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・購入する商品が値上がりしている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け大型案件の生産の末期であり、納期対応のため非常に多忙な状況である。一般の注文品も鉄鋼業向けを中心に高水準の状況が続いている。
	□	鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・春先から大きな変化はなく、景気は横ばい状態が続いている。
	□	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産能力以上の受注があるため、超過勤務で対応しているが、納期に間に合わないこともある。そのため、当社が受注できず、受注が他社へ流れることもあり、機会損失となっている。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・生産計画や販売等に大きな動きはなく、現状維持となっている。
	□	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・資機材の値上げの情報が入ってくるが、民間工事において工期中の値上げは厳しい。
	□	輸送業（業務推進担当）	取引先の様子	・不安定な世界情勢、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響、仕入価格の高騰等の景気が上向く要素が乏しい状況が続いている。
	□	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・中国でのロックダウンの影響を大きく受け、回復の兆しがみられたが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、油断できない状況である。
	□	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・データセンターやICT関連に対する企業の投資は計画的に進められており、引き合い量に変化はない。電気を安く購入したい中国系企業からの引き合いなども増加しているが、なかなか成約には至らない。
	□	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・移動制限は緩和されており、消費は回復傾向にあるが、原料高、原油価格高止まり、円安の影響を受け、コスト高となっており、企業の収益力は総じて伸びていない。
	□	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・半導体不足等の影響もあり、地元完成車メーカーの国内生産が通常時の6割程度にとどまっている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も車種によるばらつきはあるものの、おおむね通常の5～7割の低水準となっている。
	□	不動産業（総務担当）	それ以外	・前月と比べると、来客数や成約件数は、10%近く増加しているが、2か月前と比べると、1%の減少となっている。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているため、受注量や販売量が上向かない。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍で停滞した臨時取引が回復している。一方で、車両リースの新規取引が半導体不足から低迷、再リースや減車の動きも増加しつつある。
	▲	農林水産業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の再拡大で、飲食店に影響が出ている。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・春の1回目の値上げ以降、受注量や売上が減少している。
	▲	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安等の影響で、輸入材、特に合板材の価格が高騰し、コストを圧迫しているため、収益にも影響が出ている。コストの上昇を販売価格に転嫁するには限界があるため、景気はやや悪くなっている。
	▲	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・最近の受注に陰りが出ている。
	▲	非鉄金属製造業（業務担当）	それ以外	・原材料やエネルギー価格の上昇が収益にマイナスの影響を与えている。コストの上昇を価格に転嫁できる製品が少ないため、厳しい状況である。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
雇用 関連 (中国)	○	求人情報誌製作会社（HR担当）	周辺企業の様子	・先々を見据えて、新卒採用を強化したい企業が増加している。
	○	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は、前年比で19.8%の増加、前々年比では26.8%の増加と、明らかに回復傾向にある。産業別では、製造業、情報通信業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療・福祉・介護業など多くの産業が前年と比べ、10%以上増加している。

○	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求職者数の動き	・転職相談の数が前月比140%となり、企業の採用も進んでいる。
□	人材派遣会社（経営戦略担当）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたウィズコロナの状況から一転して急激な感染拡大の状況となったことから、求職者の動向は再び不透明な状況になっている。
□	人材派遣会社（副支店長）	求人数の動き	・派遣依頼数が新型コロナウイルス感染症の発生前に戻ってきている。求人数、求職者数共に増加傾向にある。
□	人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・半導体不足により、製造業全般で、受注できても供給ができない状況が続いている。
□	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・次年度の採用計画を立案する時期だが、企業の採用者数は新卒はほぼ変わらないか微増、中途採用はここに来て、活発になってきている。新卒は量ではなく、質を重視し、自社に合う学生を採用する動きとなっている。一方、中途は就職氷河期に採用を控えた年齢層の獲得や自社に足りない技術や能力を補う採用に変わってきており、新型コロナウイルス感染症の発生前より採用者数が増加している。しばらくはこの状況が続く見込みである。
□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業が新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により増加する需要への対応のため、大幅に増加したのが目立っており、求人全体でも前年同月と比べ2割の増加となっている。
□	職業安定所（雇用関連担当）	求職者数の動き	・求職者数は前年同月と比べ2.2%減少、紹介件数も前年同月を下回る状況が継続し、応募の抑制がみられる。
□	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・企業の採用意欲は依然として高めに推移しているが、給与水準は伸び悩んでいる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・7月以降、原価高騰や半導体不足等の影響で、車や住宅等の販売状況が著しく悪化している。小売業も6月までは好調だったが、お中元商戦等は苦戦している。
▲	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・前年と比べ、求人数が若干減少している。
×	—	—	—